別記様式第１３号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年産　小麦生産費統計調査票

（組織法人経営体用）

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

SAMPLE

【記入上の留意事項】　　◇オンライン調査も可能です。

1．○年産の小麦生産費について記入してください。
2．調査項目欄には、右づめで記入してください。
3．黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．オンラインで回答される場合は、 同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス番号	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「小麦（※１）の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年産の小麦の生産（※２）のためにかかった経費や労働時間等について記入をお願いします。

※１　小麦とは
食用だけでなく、種子用の麦も該当します。（青刈り目的で栽培している小麦は含みません。）

※２　この調査での小麦の生産とは
組織内での生産のことをいい、受託による生産は含みません。

【調査票の記入方法（小麦負担割合について）】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合には、資材代金や料金等から小麦負担分の経費を分けて記入していただく必要があります。
小麦と水稲を作付けしている経営体を例に、記入方法を説明します。

（記入例）
「10万円」で購入した肥料「1,000kg」を、小麦「２ha」、水稲「８ha」の作付地に施肥した場合

例１　小麦に施肥した数量、金額を記入する方法

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	200	20000	100

小麦負担割合には100%と記入

例２　小麦、水稲に施肥した数量、金額の合計を記入する方法
小麦と水稲の作付面積割合「２：８」を目安に小麦負担割合を「２０%」と記入してください。

区　分	数　量（kg）	金　額（円）	小麦負担割合（%）
肥料（購入）計	1000	100000	20

小麦負担割合には20%と記入

【小麦負担割合の設定方法】

小麦を含めた複数の作物を作付けしている場合の小麦負担割合を設定する方法について説明します。

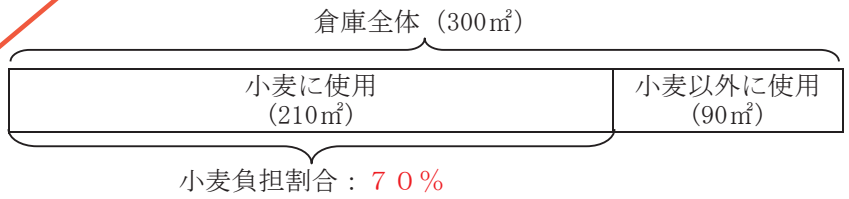
（１）倉庫（建物）の場合

倉庫の全面積のうち、小麦生産のために使用した面積の割合を「小麦負担割合」とします。

$$小麦負担割合 = \frac{小麦に使用した倉庫の面積}{倉庫の全面積} \times 100$$

例：　倉庫全体の面積が300㎡で、うち小麦生産のために210㎡、小麦以外の作物に90㎡を使用した場合の「小麦負担割合」は７０％（210㎡÷300㎡×100）になります。

○倉庫（300㎡）の負担割合のイメージ図



（２）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用時間のうち、小麦生産のために使用した時間の割合を「小麦負担割合」とします。

$$小麦負担割合 = \frac{小麦に使用したトラクターの使用時間}{トラクターの全使用時間} \times 100$$

例：　トラクター全体の使用時間が200時間で、うち小麦生産のために80時間、小麦以外の作物に120時間使用した場合の「小麦負担割合」は４０％（80時間÷200時間×100）になります。

SAMPLE

調　査　事　項

ページ

【１】　経営の概況 …… 3
経営している耕地の状況、構成員の人数や構成農家の世帯数、小麦生産における作業受託・委託別状況、農業共済金及び助成金等について記入してください。

【２】　生産物の販売等の状況 …… 5
小麦の品質・用途別、麦わら及びくず麦の販売状況について記入してください。

【３】　小麦の生産のために使用した資材等 …… 6
種苗費、肥料費等の資材、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、農機具借料、ライスセンター費等の賃借料・料金等について記入してください。

【４】　物件税及び公課諸負担 …… 9
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や農業共済組合賦課金等の公課諸負担について記入してください。

【５】　土地改良及び水利費 …… 9
土地改良区費、水利組合費等の負担金額について記入してください。

【６】　借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子 …… 9
借入金残高、支払利子について記入してください。

【７】　建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況 …… 10
生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。

【８】　自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況 …… 11
生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。

【９】　農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況 …… 12
生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。

【10】　農具の購入費・生産管理関係の費用等 …… 13
生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について記入してください。

【11】　土地の面積及び地代 …… 14
所有地及び借入地の面積及び地代について記入してください。

【12】　作業別労働時間 …… 15
構成員、雇用別の作業労働時間、雇用者に支払った賃金について記入してください。

SAMPLE

【１】経営の概況

１　経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区　　分	所有地（ａ）	借入地（ａ）
田	ha　a	ha　a
普　通　畑		
樹　園　地		
牧　草　地		

２　構成員数と構成農家数等

構成員、農業年雇の人数、構成農家世帯数について記入してください。

区　　分	用　語　の　説　明	人数等	単位
構　成　員	貴組織法人に出資している個人（自然人）のうち、貴組織法人の事業に１日以上従事した者		人
農　業　年　雇	構成員を除き、農業経営のためにおおむね年間（７か月以上）を通じて雇った者		人
構成農家世帯	貴組織法人に出資している個人（自然人）の属する農家世帯（経営耕地面積が10ａ以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯）		戸

構成農家世帯数は、貴組織法人への出資者（個人）が農家世帯である場合に、その世帯数を記入します。
例えば、同じ農家世帯から出資者が２名いる場合、ここでいう構成農家世帯数は「１」戸になります。

３　認定農業者の状況

貴組織法人は認定農業者ですか。
該当を○で囲んでください。

はい	いいえ

４　直近５か年の10ａ当たり収量

直近５か年における小麦の10ａ当たり収量を記入してください。

区　　分	１年前	２年前	３年前	４年前	５年前
10ａ当たり収量（kg）					

本調査の対象作物は、食用だけでなく、種子用を含めた小麦です。
青刈り目的で栽培している小麦は含めないでください。

【１】経営の概況（続き）

５　小麦生産における作業受託・委託の状況

全作業には、同一ほ場において、耕うん・整地から乾燥・調製までの一切の作業を受託した面積（実面積）を記入してください。

耕うん・整地や防除などで、同一のほ場を複数回にわたって作業した場合は、延べ面積を記入してください。

乾燥・調製は、玄麦の数量を記入してください。

(1)　受託作業別の状況

区　分	数　量	単位
全　作　業	ha a .	a
耕うん・整地	.	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

(2)　委託作業別の状況

区　分	数　量	単位
耕うん・整地	ha a .	a
は　種	.	a
防　除	.	a
刈取・脱穀	.	a
乾燥・調製	万 千 百 十 . 0	kg

６　小麦の品種別作付面積

当年産に作付けした小麦の品種名及びその作付面積を記入してください。

区　分	品種名	面積（a）
品種１		ha a .
品種２		.
品種３		.
品種４		.
品種５		.

注：　面積の合計が当年産の小麦作付面積です。

７　制度受取金等の状況

当年産の小麦に係る制度受取金等について記入してください。

区　分	掛金（円）	受取金（円）
農業共済	万 千 百 十	万 千 百 十

注：農業共済の受取金には無事戻し金も含みます。

SAMPLE

当年産の小麦栽培の特徴

１　作柄概況

２　被害の状況や品質

３　栽培状況の変化

(1)　新たな品種の導入

(2)　新たな設備・機械の導入

(3)　その他（新たな栽培技術の導入）

通　信　欄

【２】生産物の販売等の状況

１　小麦の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

当年産の販売状況等について、黄色の欄に記入してください。

１等、２等、規格外Ａ及びＢについて、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

区分		内容例示	数量（kg）	金額（円）
販売用（予定を含む。）	１等（計）	農産物検査において「１等」と判定されたもの	万 千 百 十	万 千 百 十
	２等（計）	農産物検査において「２等」と判定されたもの		
	規格外Ａ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ａランクのもの		
	規格外Ｂ（計）	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｂランクのもの		
	規格外Ｃ	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Ｃランクのもの		
	その他	種子用のほか、１・２等や規格外と同等の品質を有するもの		
組織内消費	食用	食用に仕向けた（予定を含む。）１・２等、規格外Ａのもの		
	種子用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの		
	規格外Ｂ	組織内に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＢランクのもの		
	規格外Ｃ	組織内に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちＣランクのもの		
	その他	食用、種子用、規格外Ｂ・Ｃ以外に仕向けた（予定を含む。）もの		

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

２　麦わら、くず麦の販売状況等

当年産の小麦生産で発生した麦わら及びくず麦の状況について記入してください。

なお、実際に販売したものは販売金額から搬出費、包装荷造り費等の出荷経費を除いた金額を記入してください。

(1)　麦わら

「数量の割合」欄には、全体の数量を100％とした場合のそれぞれの数量の割合を記入してください。

区分	内容例示	数量の割合（%）	金額（円）
販売用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等		万 千 百 十
組織内消費	販売していない麦わら全般		
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら		
計		１００	

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

麦わらの総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」の用途別に割合を記入してください。（用途別の合計が100となります。）

(2)　くず麦

くず麦について、用途別に数量の割合を記入してください。

区分	数量の割合（%）	販売用	組織内消費	その他（廃棄等）
くず麦	１００			

くず麦の総量を100%とした場合の「販売用」、「組織内消費」、「その他（廃棄等）」の各割合を記入してください。（販売用、組織内消費、その他（廃棄等）の合計が100となります。）

区分	販売金額（円）
くず麦	万 千 百 十

注：組織内消費については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

SAMPLE

自　由　記　入　欄

【３】小麦の生産のために使用した資材等

１　種苗費

当年産の小麦生産のために使用した種子について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　種子（購入）

品　種　名	数　量	単位	金　額　（　円　）
計		―	万 千 百 十

浸種の場合の減耗分や不発芽による二度まき分についても含めて記入してください。

(2)　種子（自給）

品　種　名	数　量	単位

使用した自給の種子の品種名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

SAMPLE

【３】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

２　肥料費

当年産の小麦生産のために使用した肥料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

(1)　購入

資材名等		数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）	備考欄
計			―	万 千 百 十		
窒素質						
りん酸質						
カリ質						
けい酸質						
炭酸カルシウム（石灰含む。）						※肥料として使用した分は「５　諸材料費」に記入してください。
複合肥料						
土壌改良資材						微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など
たい肥・きゅう肥						
その他			―			

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

２　肥料費（続き）

(2)　自給（組織内で生産した肥料）

資材名等	数量（kg）	小麦負担割合（%）
たい肥	万 千 百 十	
きゅう肥		
稲・麦わら		
その他		

注１：稲・麦わらは、前作の収穫後にほ場に放置し、そのまますき込んだ分を除いて記入してください。
２：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

３　農業薬剤費

当年産の小麦生産のために使用した農業薬剤について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		金額（円）	小麦負担割合（%）	備考欄
計		万 千 百 十		
殺虫剤				
殺菌剤				
殺虫殺菌剤				
除草剤				
その他				植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

注１：共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含め「６　賃借料及び料金」に記入してください。
２：除草剤等農薬入りの肥料は「２　肥料費（内訳欄に記入する場合は「その他」。）」に記入してください。

SAMPLE

【３】小麦の生産のために使用した資材等（続き）

４　光熱動力費

当年産の小麦生産のために使用した光熱動力について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等		数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
購入（計）			―	万 千 百 十	
動力燃料	重油		L		
	軽油		L		
	灯油		L		
	ガソリン		L		
	潤滑油		L		
	混合油		L		
電力料			―		
その他（水道料、木炭などの燃料）			―		
自給					

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

５　諸材料費

当年産の小麦生産のために使用した諸材料について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資材名等	数量	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
購入（計）		―	万 千 百 十	
自給				

・小麦のみの使用分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の使用分を含めて記入する場合には、作付面積の割合を目安に記入してください。

使用した自給の資材名と数量を記入してください。

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

融雪剤として使用した炭酸カルシウムは、諸材料に記入してください。

・小麦のみの支払分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の支払分を含めて記入する場合には、機械等の使用時間や作付面積の割合を目安に記入してください。

６　賃借料及び料金

当年産の小麦生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

料金名等		数量等	単位	金額（円）	小麦負担割合（%）
計			―	万 千 百 十	
共同負担金	薬剤散布		―		
	共同施設		―		
農機具借料			―		
航空防除賃			a		
賃耕料			a		
は種・定植料			a		
収穫請負わせ賃			a		
乾燥調製料			kg		
その他			―		

注１：　共同負担金（薬剤散布）及び航空防除賃は、農薬代も含めて記入してください。
２：　乾燥調製施設等に委託しており、その委託料金に包装荷造り費が含まれている場合は、包装荷造り費を除いて記入してください。

SAMPLE

【４】物件税及び公課諸負担

１　物件税

１年間に負担した小麦生産に関係する物件税について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）		
固定資産税（農機具）		
不動産取得税（土地以外）		
水利地益税		
都市計画税（土地以外）		
共同施設税		

注：固定資産税、不動産取得税及び都市計画税について、土地に係るものを除いて記入してください。

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、物件税の種類に応じて次を目安に記入してください。

固定資産税（建物）、不動産取得税、水利地益税及び都市計画税：**使用面積割合**

固定資産税（農機具）、共同施設税：**機械等の使用時間割合**

２　公課諸負担

１年間に負担した小麦生産に関係する公課諸負担について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区　　分	金　額　（　円　）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	
集落協議会費（地域集落等の会費）		
農業協同組合費		
農事実行組合費（麦作部会等の各種部会費）		
農業共済組合賦課金		

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、公課諸負担の種類に応じて次を目安に記入してください。

集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費：**農業収入全体のうち小麦の収入が占める割合**

農業共済組合賦課金：**作付面積割合**

【５】土地改良及び水利費

当年産の小麦生産のために負担した土地改良区費及び水利費等について、黄色の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

１　土地改良区費

事業種類	小麦作付ほ場負担金額（円）		小麦負担割合（%）
	維持負担金	償還金	
ほ場整備事業	万 千 百 十	万 千 百 十	
農地開発事業			
かんがい排水事業			
農道整備事業			
その他（整地、表土扱いのない事業）			

２　水利費等

費用名	小麦作付ほ場負担金額（円）	小麦負担割合（%）
水利に係る費用計	万 千 百 十	

・小麦のみの負担分を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の負担分を含めて記入する場合には、農業収入全体のうち、小麦の収入が占める割合を目安に記入してください。

水利組合費、揚水ポンプ組合費などの水利に係る費用を記入してください。

【６】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

当年産の小麦生産のための借入金及び支払利子について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみの生産に関係する金額を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の金額を含めて記入する場合には、その使途に応じた使用割合を目安に記入してください。

資金名（用途）	調査開始時未償還残高（円）	支払利子額（円）	小麦負担割合（%）
計	万 千 百 十	万 千 百 十	
借入金			
買掛未払金			

注：土地の取得に関する借入金を除いて記入してください。

SAMPLE

【７】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した建物及び構築物の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・倉庫の屋根の修理、壁の塗り替え費用
・育苗ハウスのビニールの張り替え費用
・建物の電灯や電球の交換費用
・防風網や支柱の修繕費用　など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）として　ください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	構造コード	新古区分 新築	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 異動に伴う発生金額（円）売却金額、取り壊しの金額
1				○	○		年	月	億 万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○										
3				○	○										
4				○	○										
5				○	○										
6				○	○										
7				○	○										
8				○	○										
9				○	○										
10				○	○										
11				○	○										
12				○	○										
13				○	○										
14				○	○										
15				○	○										

SAMPLE

種類コード			
建築物			
1	住　宅	8	車　庫
2	事務所	11	ライスセンター
3	納屋・倉庫	12	育苗ハウス
4	作業場	13	その他の建築物
構築物			
14	稲　架	18	作業道
15	コンクリートけい畔	19	用水路
16	暗きょ排水施設	25	たい肥盤
17	客　土	31	その他の構築物

構造コード					
建築物（１住宅）～（13その他の建築物）					
1	木　造	6	木造モルタル	9	鉄骨造 骨格材の肉厚３㎜以下
2	合成樹脂造	7	金　属	10	骨格材の肉厚３～４㎜
3	鉄筋コンクリート	8	その他	11	骨格材の肉厚４㎜以上
4	コンクリートブロック				
構築物（14稲架）～（31その他の構築物）					
1	コンクリート、れんが、石、ブロック	2	金　属	5	合成樹脂
		3	木　造	6	塩化ビニール
		4	土　管	7	その他

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売　却

【８】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

小麦生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。
・自動車（バイクを含む。）の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
・バッテリー・補充液
・洗車代、リサイクル料金　など

自動車保険料には、任意保険（対人・対物除く車両分のみ。）の掛金を記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。	自動車保険料（円）当年の当該自動車等の保険料を記入してください。	自動車・軽自動車税（円）当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。自賠責保険（円）	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○												
3				○	○												
4				○	○												
5				○	○												
6				○	○												
7				○	○												
8				○	○												
9				○	○												
10				○	○												
11				○	○												
12				○	○												
13				○	○												
14				○	○												
15				○	○												

SAMPLE

種類コード	
1	貨物自動車
2	その他の自動車

型式コード		
（１　貨物自動車）		
	1	軽自動車
	2	普通自動車（ダンプ式）
	3	普通自動車（ダンプ式以外）
（２　その他の自動車）		
	1	軽自動車
	2	普通自動車
	3	自動二輪・三輪

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【９】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

くわ類・かま類の農具、作業着・軍手等の農業被服については、13ページに記入してください。

小麦生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、１年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「小麦負担割合」欄に記入してください。

修繕費には、次のような費用を記入してください。

・農業機械の修繕、整備費用、部品代
・パソコン等の修理費用、部品代　など

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用時間割合を目安に記入してください。

耐用年数は、中古で取得した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品	新古区分 中古	耐用年数（年）	取得年月 年（西暦）	取得年月 月	取得価額（円）購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農業経営基盤強化準備金（円）農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費（円）当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保険料（円）当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税（円）当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	当年、車検を受けた車両について記入してください。自動車重量税（円）	当年、車検を受けた車両について記入してください。自賠責保険（円）	小麦負担割合（%）	年内異動状況 異動コード	年内異動状況 売却金額（円）廃棄（無償譲渡を含む。）した場合は、「0（ゼロ）」
1				○	○		年	月	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十	千 百 十	万 千 百 十	万 千 百 十			万 千 百 十
2				○	○													
3				○	○													
4				○	○													
5				○	○													
6				○	○													
7				○	○													
8				○	○													
9				○	○													
10				○	○													
11				○	○													
12				○	○													
13				○	○													
14				○	○													
15				○	○													

SAMPLE

種類コード			
3	歩行用トラクター	20	自脱型コンバイン
4	乗用トラクター	21	普通型コンバイン
8	たい肥等散布機	29	脱穀機
9	肥料散布機	31	乾燥機
10	総合は種機	54	トレーラー
16	中耕除草機	56	その他の農機具
17	動力噴霧機	57	パソコン
18	動力散粉機	58	その他の生産管理機器
33	ドローン		

型式コード					
（4　乗用トラクター）		（20　自脱型コンバイン）		（56　その他の農機具）	
1	２０馬力未満	1	３条刈以下	1	その他・耐用年数３年
2	２０～５０馬力未満	2	４～５条刈	2	その他・耐用年数４年
3	５０～８０馬力未満	3	６条刈以上	3	その他・耐用年数５年
4	８０～１００馬力未満			4	その他・耐用年数６年
5	１００馬力以上			5	その他・耐用年数７年
				上記以外の農機具	
				6	その他

異動コード	
1	売　却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

当年産の小麦生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物へ共通して使用した場合には、使用面積割合を目安に記入してください。

	名　称　等	金　額　（円）	小麦負担割合（%）	内　容　例　示
農具・農業被服等の購入費	（計）	万 千 百 十		【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

	名　称　等	金　額　（円）	小麦負担割合（%）	内　容　例　示
生産管理関係の費用	（計）	万 千 百 十		【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用机、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得の費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

SAMPLE

【11】土地の面積及び地代

当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
・小麦のみ作付けした団地（ほ場）においては、100（%）としてください。
・小麦以外の作物も作付けした団地(ほ場）においては、小麦とそれ以外の作物との過去１年間における収入（作付地ごとではなく全体の収入）の割合を記入してください。

【例】Ａ団地（ほ場）に米と小麦を作付けており、過去１年間における作物別の収入が米400万円、小麦400万円の場合、この作付地の収入割合は次のとおりです。
小麦400万円÷（米400万円＋小麦400万円）×100＝50（%）

１　所有地

(1)　作付地

当年産の小麦生産のために作付けした所有地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	小麦負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .		○	○
2		.	.		○	○
3		.	.		○	○
4		.	.		○	○
5		.	.		○	○
6		.	.		○	○
7		.	.		○	○
8		.	.		○	○
9		.	.		○	○
10		.	.		○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

当年産の小麦の収穫が終わる前の１年間に、
・小麦のみに使用した場合は、100（%）としてください。
・小麦以外の作物にも使用した場合は、使用面積の割合を目安に記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の所有地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	小麦負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	
2		.	.	
3		.	.	

２　借入地

(1)　作付地

当年産の小麦生産のために作付けした借入地について記入してください。
なお、団地（ほ場）ごとに田畑のどちらかに○を付けてください。

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積（a）	作付実面積（a）	支払地代（円）	小麦負担割合（%）	地目 田	地目 畑
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十		○	○
2		.	.			○	○
3		.	.			○	○
4		.	.			○	○
5		.	.			○	○
6		.	.			○	○
7		.	.			○	○
8		.	.			○	○
9		.	.			○	○
10		.	.			○	○

注：途中で廃耕があった場合は、廃耕分も含めた当初の作付実面積を記入してください。

(2)　建物敷地等

当年産の小麦生産のために使用した作付地以外の借入地について記入してください。

番号	使用地名	総面積（a）	使用面積（a）	支払賃借料（円）	小麦負担割合（%）
1		ha a .	ha a .	万 千 百 十	
2		.	.		
3		.	.		

SAMPLE

【12】作業別労働時間

当年産の小麦生産における主な作業時間（受託した作業時間は含みません。）について記入してください。
作業時間は食事などを除いた実労働時間とし、最初の作業までの準備から農具の片付けまでの時間やほ場への往復時間も含めてください。
また、複数の作業を同時に行った場合は、要した時間を作業数で等分し、それぞれの作業へ等分した時間を記入してください。

1　構成員（年齢階層別）・雇用別の労働時間

作業ごとの延べ作業時間とその作業に携わった実人数を記入してください。
なお、構成員の労働時間については、構成員の年齢階層（65歳未満、65～69歳、70～74歳、75歳以上）別に記入してください。

作業種類	内容例示	構成員の年齢階層								雇用		作業種類
		65歳未満		65～69歳		70～74歳		75歳以上		合計		
		延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	延べ作業時間	実人数	
種子予措	選種、浸種、消毒、催芽	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	時間	人	種子予措
耕起整地	耕起、整地、畝立て、融雪剤散布（秋まき小麦以外）											耕起整地
基肥	基肥の配合、運搬、施肥											基肥
は種	種子予措、選種、消毒、種まき、覆土											は種
追肥	追肥の配合、運搬、施肥											追肥
中耕除草	ほ場内の中耕、土入れ、土寄せ、除草、除草剤散布											中耕除草
麦踏み	麦踏み（ローラー等による鎮圧を含む。）											麦踏み
管理	かん排水、けい畔の草刈り、けい畔の除草剤散布、融雪剤散布（秋まき小麦）、心土破砕、麦なで、ほ場見回り											管理
防除	農薬散布（除草剤除く。）による防除、鳥獣害対策											防除
刈取脱穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊しを含む。）、麦稈の処理											刈取脱穀
乾燥	乾燥、調製											乾燥
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）											生産管理
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等											間接労働

SAMPLE

2　支払賃金

当年産の小麦生産のために雇用者に支払った労賃（現物支給も含む。）を記入してください。

区分	支払賃金（円）	小麦負担割合（%）
合計	万　千　百　十	

・小麦生産のための労働に支払った賃金を記入する場合は、100（%）としてください。
・小麦生産以外の労働への支払いも含めて記入する場合には、労働時間の割合を目安に記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。